

教材教具名	10のまとめり	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・10のまとめりを意識して数えたり、計算したりすることができる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・チップをならべて10になったら、「10」の蓋をする。
- ・1円をならべて10になったら、「10円」の蓋をする。

<材料>

- ・ラミネート、はりパネル

<工夫点>

- ・10のまとめりを1列にしないで、5と5に分けたことで、5のまとめりにも気付いてほしいと考えた。

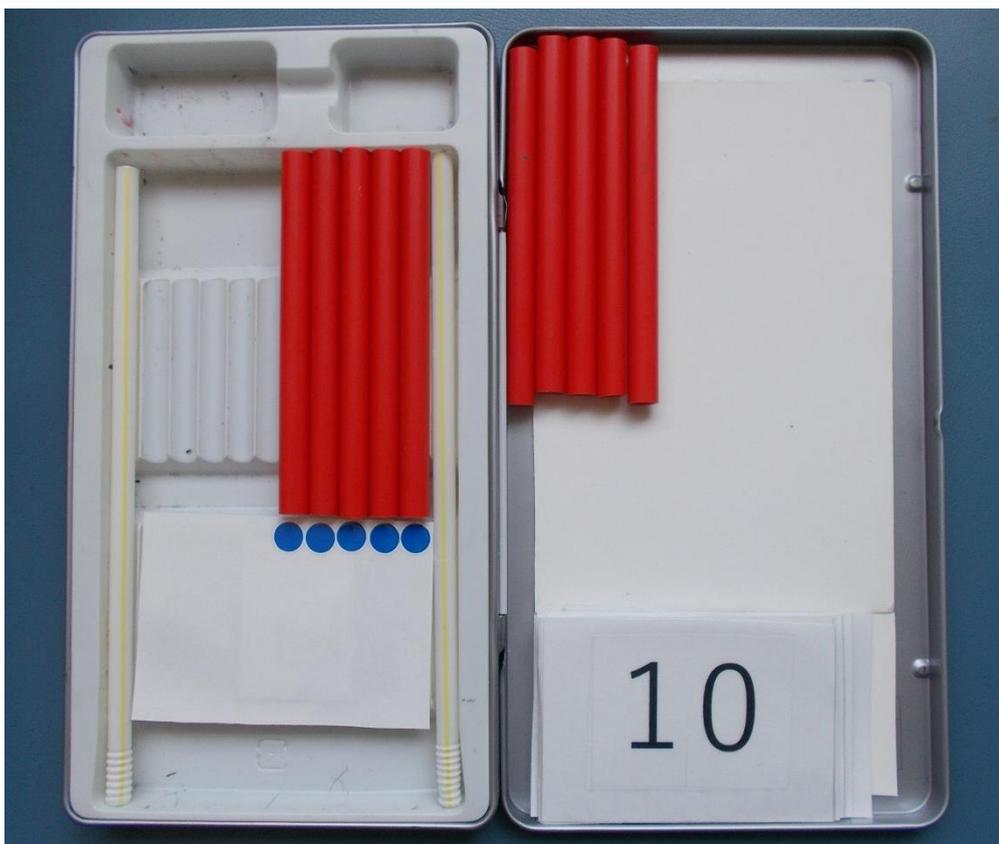


<使ってみてよかったところ、効果>

- ・実際に具体物を操作したことで、10以上の計算もスムーズにできた。
- ・少しずつ数を増やしていったが、途中からチップをならべなくても答えがわかるようになった。
- ・チップの数え方がわかってから1円も数えたことで、1円玉×10枚=10円玉ということがわかり始めた。

教材教具名	1～10の数量	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習
ねらい	・1～10の数量の学習を行う。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ① 棒の本数を見て、数字を答える。
 - ・問題として棒を並べておく。
 - 数字カードを置く→数字カードをひっくり返して答え合わせをする。
- ② 数字を見て、その量の棒を答える。
 - ・問題として数字を置いておく。
 - 数字の量の棒を置く→数字カードをひっくり返して答え合わせをする。

<材料>

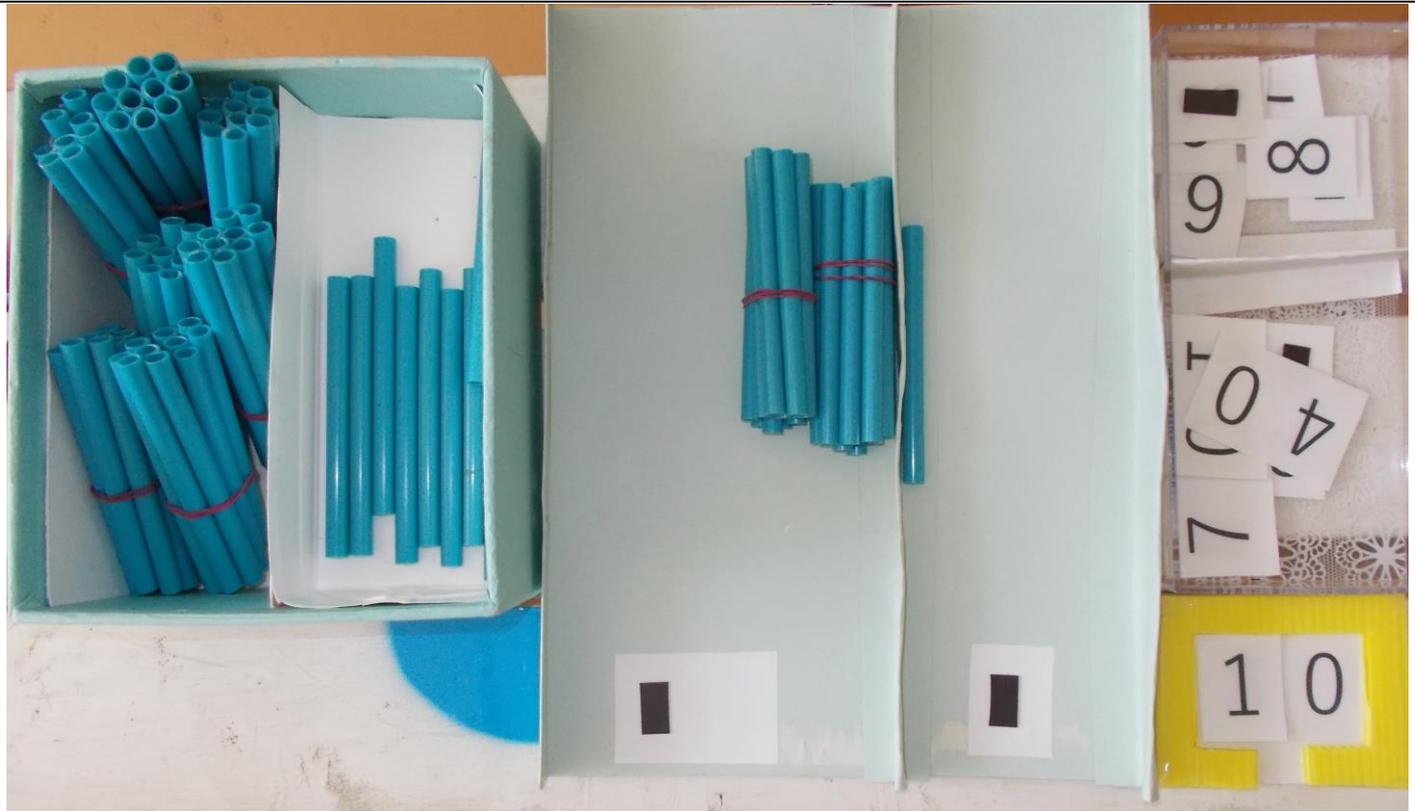
- ・カラー棒、色鉛筆の入れ物、ラミネートシート、紙、丸シール、ストロー

<工夫点>

- ・数字カードをひっくり返して答え合わせができるようにした。

教材教具名	2桁の数	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題・国語・算数
ねらい	・桁の数を操作を通じて学ぶ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・各位に棒の束を置いて問題を出す。
- ・各位の棒の数を数えて数カードを貼り付ける。
- ・枠に数カードを10の位から順に重ねて入れていく。
- ・出来上がった数を読む。

<材料>

- ・カラー棒、輪ゴム、ファイル、ラミネート、マグネット、ボール紙、箱

<工夫点>

- ・具体物の操作を通じて桁の数を学習できるようにした。
- ・数字カードを入れる枠を作りそれぞれの位の数字カードを合わせると、2桁の数が作り上げられるようにした。

教材教員名	3桁の数	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習・国語・算数
ねらい	・3桁の数を操作を通じて学ぶ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・各位に棒の束を置いて問題を出す。
- ・各位の棒の数を数えて数カードを貼り付ける。
- ・枠に数カードを100の位から順に重ねて入れていく。
- ・出来上がった数を読む。

<材料>

- ・カラー棒、輪ゴム、ファイル、ラミネート、マグネット、ボール紙、箱

<工夫点>

- ・具体物の操作を通じて3桁の数を学習できるようにした。
- ・数字カードを入れる枠を作りそれぞれの位の数字カードを合わせると、3桁の数が作り上げられるようにした。

教材教員名	4桁の数	分類	認知 ★★★★★
		授業名	算数・数学
ねらい	・4桁の数の学習。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・教員が1～1000の位にそれぞれの量の立方体を置いて問題を出す。
- ・位ごとの数量を数えて数字カードを貼る。
- ・1000→100→10→1の位から順に数字カードを枠に重ねて4桁の数をつくり、読み上げる。

<材料>

- ・2cm立方体、ファイル、マグネット、パウチ、ネジ、テープ、ボール紙、箱

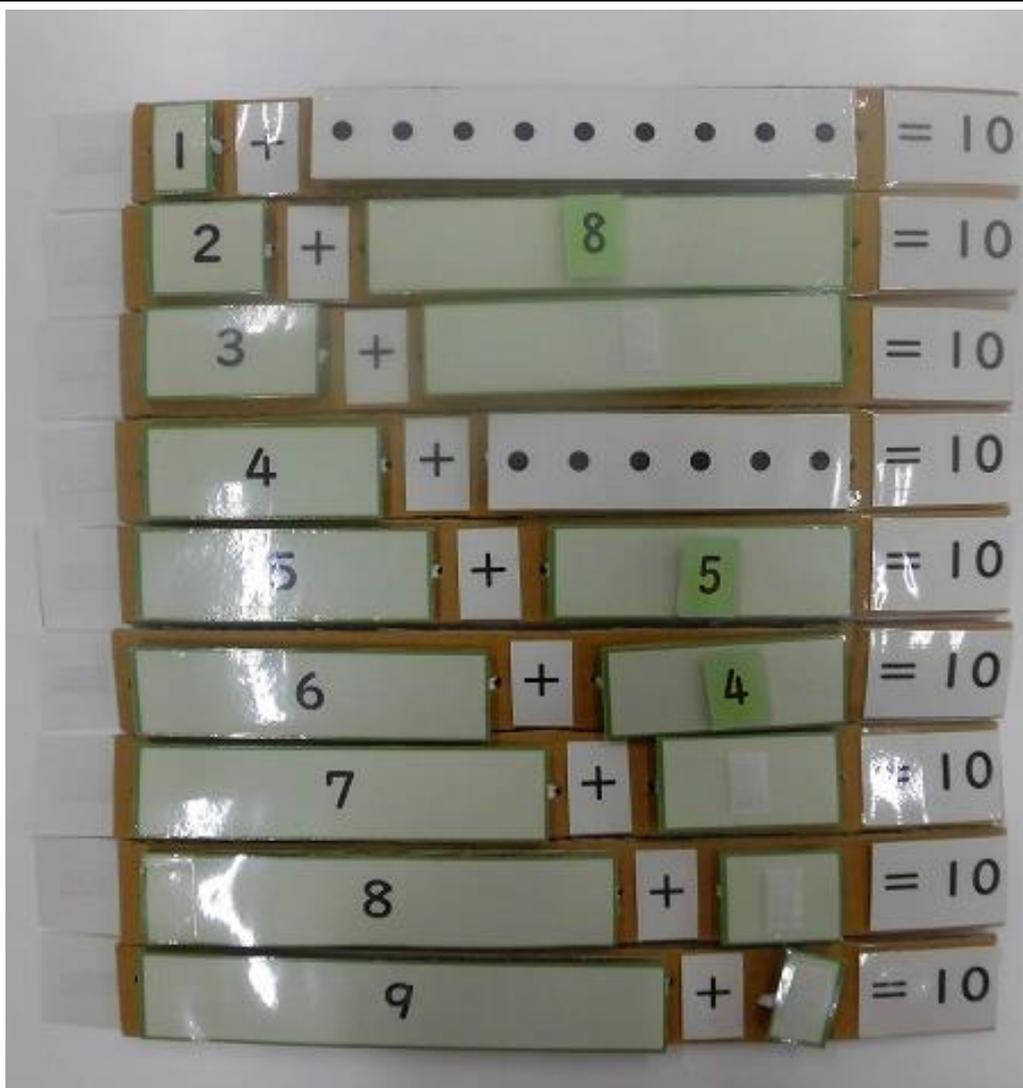


<工夫点>

- ・具体物の操作を通じて4桁の数の学習をできるようにした。
- ・数字カードを入れる枠を作りそれぞれの位の数字カードを合わせると、4桁の数が作り上げられるようにした。

教材教員名	10になる足し算	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・いくつといくつで10になるかがわかる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・数字のチップを貼り、足すと10になる足し算を完成させる。
- ・わからないときは、バーをひっくり返して●を数えて確認する。

<材料>

- ・段ボール、ラミネート、マジックテープ、ゴム

<工夫点>

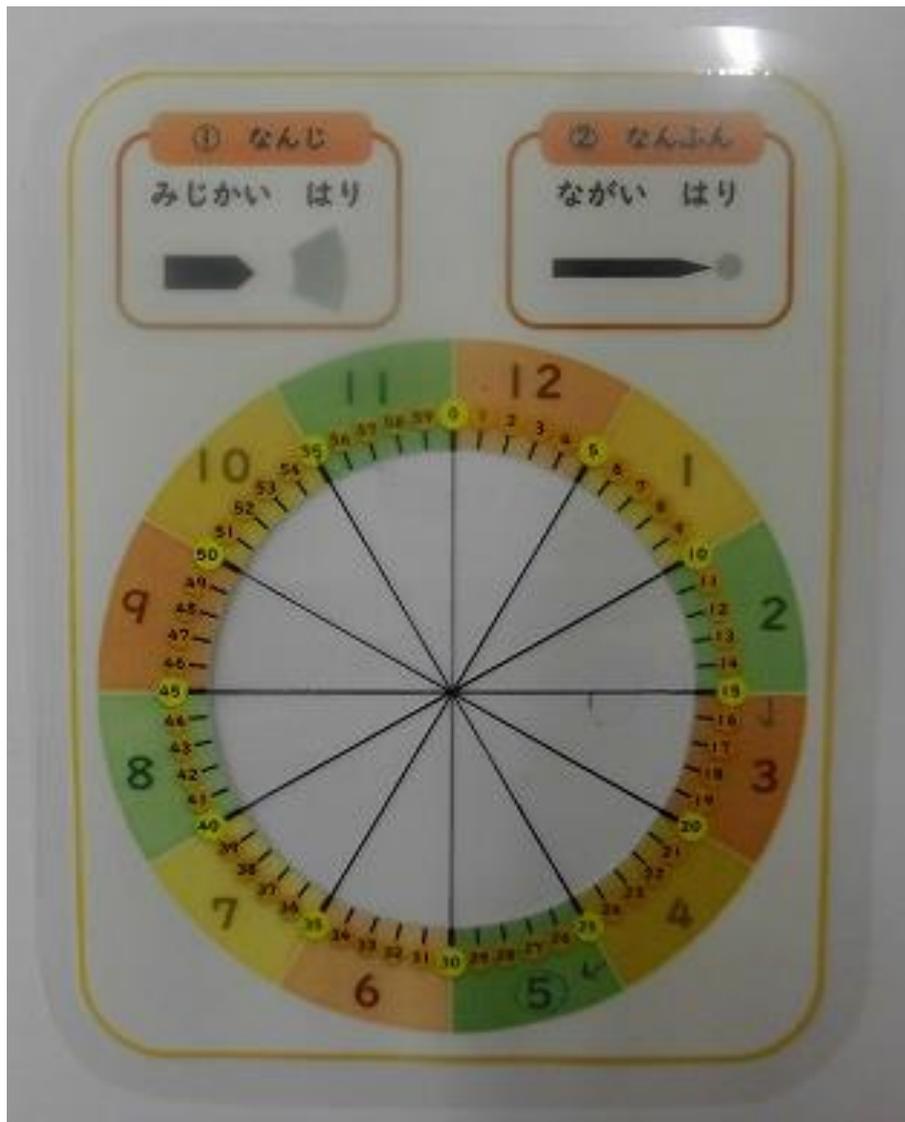
- ・数字だけを暗記するのではなく、実際に数えて確認できるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・確認しながら進められることで、自分で課題を進めることがとができた。

教材教具名	時計ガイド	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 時計の読み方を確認する。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 時計の上に重ねて使用する。ガイドの上部の「①なんじ みじかいはり」「②なんぶん ながい はり」を見て注目する箇所を確認する。

<材料>

- ラミネート、はさみ

<工夫点>

- いろいろな時計に対応できるようにした。
- ガイドの上部の案内をみて確認できるようにした。

令和2年度 教材教具展 (夏季) (冬季)

教材教具名	硬貨マッチング	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • 硬貨のマッチングができる。 • 硬貨の名称を覚える。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- 硬貨のマッチングをする。
- 硬貨の名称を唱えたり、指示された金種を選んだりする。

<材料>

- ボール紙、硬貨の写真、はりパネル、ガムテープ

<工夫点>

- 何度も繰り返しマッチングができるように、ピンクの持ち手を上に引くと硬貨が隣のスペースに流れ落ちる。
- P48「お金数え台」と色をリンクさせている。

<使ってみてよかったところ、効果があったこと等があれば、書いてください。>

- 日常生活でお金に触れていなくてもマッチングができた。

令和2年度 教材教具展 (夏季) (冬季)

教材教具名	お金数え台	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> • お金を数えることができる。 		

教材教具の概要



<使用方法>

- お金を金種別に並べて、金額を出すことができる。

<材料>

- 段ボール、はりパネル、硬貨の写真、ラミネート

<工夫点>

- 台を斜めにすることで自然に硬貨が並ぶようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- お金を並べることを楽しんでいる様子だった。

48

令和2年度 教材教具展

教材教具名	小銭が混ざらない財布	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習（中学部）
ねらい	• 財布の中で小銭が混ざらないようにして取り出しやすくし、支払いの苦手意識を減らす。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 分別してお金を入れる、金種をわかりやすく入れる。

<材料>

- 固いスポンジ、ポーチ、お金

<工夫点>

- 固いスポンジにお金を差し込めるようにし、金種がわかりやすく、財布の中で混ざりにくくすることで支払いしやすくした。



<使ってみてよかったところ、効果>

- ・買い物学習の支払いがスムーズになった。

令和2年度 教材教具展 (夏季) (冬季)

教材教具名	文作り	分類	認知 ★★★★★
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	・写真やイラストを見て文を作ることができる。		

教材教具の概要



<使用方法>

- ・写真やイラストの様子を言葉で表す。
- ・写真やイラストの様子を文字チップで表す。
- ・文の読み方や正解かどうかをボイスペンで確認する。

<材料>

- ・写真やイラスト、クリアファイル、ラミネート、マジックテープ、ボイスペン

<工夫点>

- ・自分が経験したことを文で表すようにした。
- ・話すのが苦手な児童には、文字チップで表せるようにした。
- ・自信がないときはボイスペンで確認できるようにした。

<使ってみてよかったところ、効果>

- ・ボイスペンを使用することで児童のやる気に繋がった。

- ボイスペンを使用し音声での確認をしたことで「は」などの読み方も覚えることができた。
- 答えの確認ができるため、安心して取り組めた。
- 自信が付き、声に出して文を読めるようになった。